



王羲之(三〇七〜三六五)の蘭亭序、
集字聖教序の倣書で書いています。
王羲之は、書聖といわれた人物です。
用筆、字形ともにすぐれており、
筆使いは自在で伸びやか。
字形も変化に富んで豊やかな表情
である。

えんか しょうがい
煙花象外に幽なり
かすみも咲く花も俗塵の外にあっておもむき深い。

(唐・孫逖作)